



シラバス参照

タイトル「2014年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2014年度 経済学部シラバス-専門科目(基礎専門科目)」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	経済史総論		
担当教員	今田 秀作		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	水 3	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 1年生		
科目名(英語表記)	Economic History		
開設学科	経済学科		
研究室	本館棟 E-507		
オフィスアワー	火曜日16:30~17:30		
授業の概要	<p>本講義では、近現代における世界経済史の流れを、覇権国として歴史をリードしたイギリス及びアメリカの社会変化を中心として概観する。まずイギリス史に即して封建社会の構造とその崩壊過程をたどることで近代社会の基本的特質を捉える。次に19世紀までにイギリスを中心としたヨーロッパが達成した社会発展の特質を確認しながら、それとの対比において、20世紀アメリカの独自の発展を位置づけていく。20世紀に至る近現代史の基本線を検討することにより、21世紀の課題や展望について考える一助となれば幸いである</p>		
授業計画	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	村落共同体と封建的農業構造	
	3	中世自治都市とギルド手工業	
	4	農業の近代化と封建的社会関係の後退	
	5	農業進化の二つの道とイギリス市民革命	
	6	マニュファクチュアと重商主義体制	
	7	イギリス産業革命とその歴史的制約性	
	8	イギリス自由主義的経済政策体系	
	9	アメリカ的大量生産体制の成立	
	10	アメリカ大企業体制の成立	
	11	アメリカ的生活様式の成立	
	12	世界恐慌とニューディール政策	
	13	アメリカ戦時動員体制	
	14	アメリカ戦時労使関係	
	15	戦後アメリカ経済と21世紀の展望	
到達目標	近現代の歴史発展の基本線を理解し、それにもとづいて将来の経済社会像を展望することができる		
成績評価方法	定期テスト(70%)、数回のレポート提出(30%)により評価する		

教科書	特になし。レジュメを配布する
参考書	講義中に指示する
授業時間外学習	授業終了後は、講義資料を見直し、要点をその都度確認しておいてください。また見直しの過程で疑問点や問題点が出てきたら、次の授業で質問できるように用意してください。
受講を推奨する関連科目	国際経済史
履修上の注意・メッセージ	

